

自分らしく生きた経営者のあくなき挑戦！卒寿を迎えた「貴人＝雪山会長」への敬慕の

お話し*****悟性に至る道***** はやぶさ2・622号 2023年10月13日（金）

*もし、あなたが満足した人生をおくり、「笑顔」でいたいならば、
この方の生き方を知ってください。

■LittleBiz 企業を旨とするのであれば

「理念経営道」を更に推し進め、

LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や

経営者やステークホルダーの方々が

「豊かになり・幸せ」になってほしいと強く念じて考働してしましよう。

*「LittleBiz 企業」とは私の造語ですが、

小さい企業規模だが

「No.1」の商材を持ち、

地域に貢献し

人々に「勇気と希望」をもたらし

次世代に繋いでいく

「理念経営道」を実践している企業です。

渋沢栄一翁が提唱する『合本主義＝義利合一』を体得して、

100年企業になる時代がきていますので、

その実現に全身全霊をかけて邁進いたします。

■ ■ 自分らしく生きた経営者のあくなき挑戦！

卒寿を迎えた「貴人＝雪山会長」への敬慕のお話し（4回シリーズ）

- ◆第1回 雪山家のルーツと徳之島の文化
- ◆第2回 作家志望の挫折と人生の転機
- ◆第3回 創業のいきさつと、「血の小便がでる」ピンチの体験
- ◆第4回 すばらしい伴侶と多くの方に恵まれて「笑顔」の生活

~~~~~序文~~~~~

・「貴人」とは、自らの生き方や様々な困難に出会ったときに「勇気と希望」を与えてくださり、有形無形の支援をもたらしてくれる方です。

多くの場合は年長者の方で、この方を心に浮かべるだけでエネルギーが湧いてきます。

人生は様々な修行の場であり、それらの経験をとおして魂はつながっているのです。

眞に「一期一会」で必然的に貴人と出会うのです。

・極論すれば、出会う前にすら「愛」しているのです。この「愛」は肉感的な愛ではなく、友愛に近い憧れと感謝を伴っており、ご先祖様への感謝とは感じが少し違うのです。

・凡々と生きているように見える方にも、ものすごい修行があり、すばらしい人生があり、それは「不退転の不屈の精神」でやり遂げるのだということをお伝えしたいと念います。

・今回4回のシリーズは、ビジネスから少し離れて、企業経営が人間性を高め、豊かな人間関係を築いて多くの方々の支援を受け、子々孫々に幸せをもたらし、

「世のため・人のため」に生き清豊の人生をおくられて「悟性」に至った、

アルナ会長の雪山氏のお話を敬慕をもっていたします。

~~~~~本文~~~~~

◆第2回 作家志望の挫折と人生の転機

★沖縄から22才（1956年）に作家志望を胸に、東京に単身移住しました。

- その時の決意を日記に記していますので、紹介します。（23才）

「今年こそ創作に熱中する。一作をものにして誰かに認められるよう努力する。

その誰かは必ずしも現文壇の有名人とは限らない。

自分の作品を理解する作家にめぐり会いたい。

文壇に出られるような作品を書きたい。

否、今年こそは懸賞小説原稿が書けるようになり、書いて応募する」と、決意を記しました。

- 同人雑誌に応募の挑戦を続け、徳之島の生活体験を書いた

「マント姉」が「文そう」に掲載されたのです。

作家志望の」夢を実現するために、

作家への訪問、作家志望の友人、知人や親戚に助けられながら

イロイロの職業を生活のために経験し、人生体験を深めたのでした。

◆この情報や人脈を構築する挑戦の経験が、その後の大きな**無形の財産**として身につけて行くのでした。

*主な職歴と重要な出来事を書きますと

1) 22才（1956年）・・・新宿三丁目「ニッカバー」にてボーイ

@期間 1 ヶ月

2) 同上 • • 銀座 4 丁目「喫茶店：田園」にてボーイ

@期間 1 年 8 ヶ月

3) 23 才 (1957 年) • • 新橋駅前「キャバレー：ランデブー」にてキャバボーイ

@期間 2 年

4) 24 才【1958 年】• • 銀座「銀パリ」にてフロアー係

丸山明宏の「輝き」を実体験して、エネルギーをもらう

@期間 1 年

5) 26 才 (1960 年) • • 渋谷駅地下にて、外交員として営業を経験

@期間 1 年 3 ヶ月

6) 27 才 (1961 年) • • 亀戸にて、板金工となる

@期間 7 ヶ月

7) 27 才 (1961 年) • • **妻とのなれそめが、始まる** • • • • • 後程、書き添えます

8) 27 才 (1961 年) • • 交通事故で入院生活*人生のターニングポイントを観じる。

◆禍福が交差して、「やるべきことに導かれている」と観察しております。

9) 28 才 (1962 年) • • 麻布「パキスタン大使館」タイピスト

人格を無視してスキルを引き出すこともなく、

道具として使われることについていけないし

作業レベルの仕事であった。

@期間 6 日

10) 28 才 (1962 年) • • 日本橋「ブルネオ・スマトラ貿易商社」にて、営業事務員

@期間 4 年

11) 29 才 (1963 年) • • **妻と結婚**・福島須賀川にて • • • • • 後程、書き添えます

12) 29才(1963年)・・・結婚式の3ヵ月後に、実母が逝去された。

13) 31才(1965年)・・・40日間の取材旅行に、奄美・沖縄の島めぐりをして、

作家への道を模索したが、

「文藝首都」で才能の限界を思い知り作家志望を断念する。

14) 32才(1966年)・・・中古車センターに勤務。運転免許をとり車通勤をする。

15) 32才(1966年)・・・ライターメーカー「S製作所」・T氏との出会いが

経営者への転身の引き金となった。

16) 33才(1967年)・・・アルナ工芸を創業する。・・・この経過等は第3回で述べます。
長男誕生・子育ての苦勞と妻の奮闘

17) 34才(1968年)・・・実父逝去

**以下は経歴と創業の苦勞等は第3号でお話しします。

◆奥様との出逢いと献身的貢献のお話

*なれそめは、若者むけ総合雑誌「社会人」での文通でした。

この雑誌は「小説・人生記録・現代詩・俳句・短歌等を掲載していて、文通希望を載せた際、同欄に妻も文通希望と掲載していましたので申し込んだら返事があり、文通交際が始まったのでした。

この出会いは、「直観」が始まりで「運命的な出会い」あり、前世で約束していたのではないと思うほどです。

60年のダイヤモンド婚を無事に迎えられ、経営者としても立派に過ごされたのも、奥様の献身的支援がなければできなかつたと観じます。

お互いの魂が呼び合って結びついたのだと想いますし、このことは最大の幸福なのです。

*奥様の実家は、東京から須賀川へ疎開されて、小さな雑貨商を営んでおり、両親・兄・弟・妹の6人家族で、

礼儀作法の躰や家族とのコミュニケーションなど素晴らしく、家庭的な暖かさを感じる家族でした。

そのことが、後に共働きの夫婦を助けてくれたのでした。

*小さいけれど「雑貨商」を営んでいたことは、
奥様の経済感覚に刷り込まれて、企業経営の大いに役立ちましたし、
事業展開（小売り：雪山堂）に貢献したのでした。

★これ以降は次号でお話しします。

~~~~~captain 平本の所感~~~~~

★雪山会長の幼児期における祖父との交流や  
喜和信シュウとしての考働を身近に感じた事は、大きな影響をもたらしていると観じます。

棟梁としてやらねばならぬことや、  
自分のことだけでは済まないアンパンマンマインドが体と心に沁みついており、  
そのことがその後の人生の展開において大きな潜在能力になっていると観じます。

つまり、ご先祖様の生きざまが考働に及んでおり、ご先祖様の功德のお陰なのです。

- そして父君の商い感覚と貧乏の苦しさを肌身で感じた事で、  
作家志望になっていくのですが、  
結果として棟梁の仕事＝中小企業の経営者に導かれるのでした。

- どんな経験も全て受け入れて学んでいく

（修行していく）姿に、敬愛を観じております。

一つひとつの体験が全て経営者になるためのものであったと強く感じるのです。

いつも誠実に、前向きにとらえて行く姿勢が、

多くの支援者・協力者を呼びよせているのです。

- 今どんな苦難に遭遇しようとも、

いつも「勇気と希望」をもって、「明るい笑顔で生きている」姿が

「道を開いて」くれているのであり、敬服する由縁であります。

・存在してくれているだけで、いてくれるだけで勇気が湧いてくるのです。

心正しく「誠実」に生きていれば、生かされ護られていることを実感するのです。

ありがとうございます。

~~~~~

■参考図書■Amazon 電子書籍

合本主義「義利合一」の時代がきている

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

*著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本 靖夫

~~~~~

本記事に対するご質問やご感想は下記アドレスまでお願いいたします。

heart\_gaia\_gi@hosbiz.net

~~~~~ 次回予告 ~~~~~

皆様のコメントを励みにして、航海を続けていきますので、重ねてご支援ご鞭撻を
よろしくをお願いします。

◆次号 第623号 23・10・20（金）は、

◆第3回 創業のいきさつと、「血の小便がでる」ピンチの体験

を、お話します。 予告なく変更する場合がありますので、ご承知ください。

■LittleBiz 企業・中小企業で働く人々や、経営者が幸せでなければ、

私たちは「世のため・人のため」になれない。

とクルー一同尽力しております。

■平本靖夫、50年の経営支援家人生の集大成 第1弾！

『合本主義「義利合一」の時代がきている』

Amazon kindle にて発売中！！ 2000円

<https://www.amazon.co.jp/dp/BOCB9M6D2T>

◆『合本主義「義利合一」の時代がきている』は、
読み物として書いたのではなく、人生をいかに生きるが、ビジネス活動を
どうすれば良いかの指針であり、「教本」ですので、
内容をより理解していただくために、ZOOM 講義を、
10月より開催いたしますので、よろしくお願いいたします。

■ZOOM 講義 & 勉強会のご案内■

下記にてご案内します。ご期待ください

★購入していただいた方は、ご招待いたします。

第3回:10月19日(木曜日)・18:30~20:30

notes

説明:・開講の目的&オリエンテーション 理念経営とは自分も他人も幸せになる

https://rinenkeieishi.net/archives/data/mls723lpdf_1_201.pdf

これを機会に是非お求めください

最後までお読みいただき感謝いたします。本当にありがとうございます。

では、また次号で元気にお会いしましょう！

◆発信日・・・毎週・金曜日

◆発行責任者・・・・・・・・Captain 平本靖夫

◆編集長・・・・・・・・岩下一智・(株) I&C・HosBiz センター 執行役員

マーケット・クリエーター(MRC)・・・CST 開発推進責任者

プロフィール

<https://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#inoue>

Facebook

<https://www.facebook.com/yasuo.hiramoto>

ご愛読ありがとうございます

著者：(株)I&C・HosBiz センター

Captain 平本靖夫

プロフィールは

<http://rinenkeieishi.net/corporate/index.html#hiramoto>

◆はやぶさ・に関するお問い合わせ・質問は

メールアドレス：kazu_zohan@hosbiz.net

発行責任者：Captain 平本靖夫、

編集長：岩下一智 MRC